

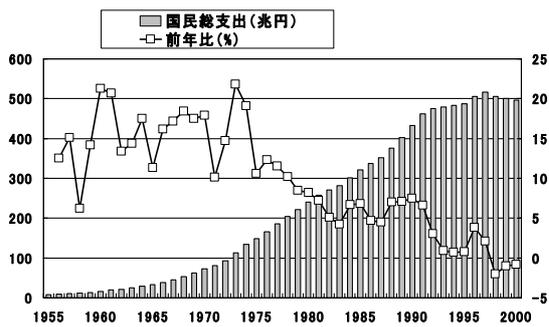
## 1. はじめに

経済と経済学

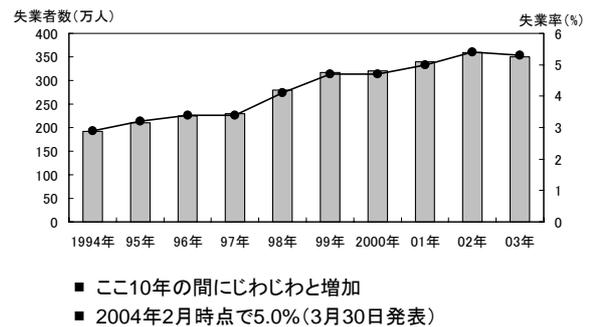
## 今回の課題

- ✓ 経済の現状について簡単に振り返る
- ✓ 経済とは一体なんなのか, 3つのレベルでまとめる
- ✓ 経済学の課題を明らかにする

## 右肩上がりの終焉



## しのびよる失業



## グローバル化の進展

- 暴走する市場
  - 企業の無国籍化
  - 国境を越えるマネー
- 社会問題もグローバルに
  - 雇用問題
  - 南北問題
  - 環境問題
  - テロと独裁と戦争
- 先進諸国の共同利害・協調行動

## 人類の物質代謝

1. 下等な生物
  - 自然と個体は一体のもの
2. 人間
  - 自然から個体が独立
  - 消費と生産とが分離
  - 社会的・効率的に物質代謝を運営  
= 経済活動

生産=消費

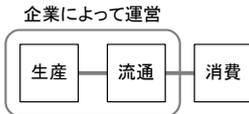
生産 — 消費

## 現代社会の物質代謝

### 1. 現代社会＝市場社会

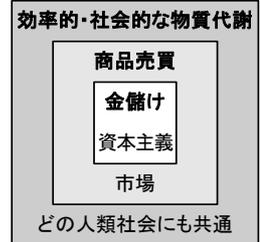


### 2. 現代社会＝資本主義社会



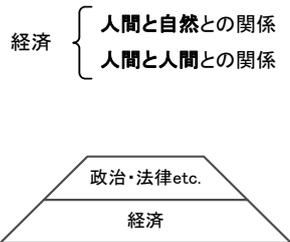
## 経済活動の三つの意味

- 物質代謝を効率的・社会的に行うということ
  - どの社会にも共通な経済活動
- 商品売買のこと
  - 市場社会の経済活動
- 営利活動のこと
  - 資本主義社会の経済活動



## 経済と政治・法律

- そもそも、経済は人類の存続に不可欠
- 現代では、市場において経済が自立化(その他の社会関係から区別)
- 現代では、経済的関係はすべての社会関係のベース



## 経済学のイメージ

- 現代においては、財貨・サービスの圧倒的大部分が 営利企業によって市場という社会的な場に向けて生産され、そこにおいて流通する。
- 社会の中で生産・流通する財貨・サービスを“富”と呼ぶ。
- 経済学は、社会的富の生産・流通・分配にかんする学問である。

## 経済学の役割

- 現代社会システムを経済という、その土台から把握
- 経済一般・市場経済・資本主義経済という三つのアスペクトに即して把握
- ↓ つまり
- われわれが住んでいる現代社会を
  - 根本から把握
  - トータルに把握

## 今回のまとめ

- ❖ 日本も世界も先の見えない変革の波に呑み込まれている。
- ❖ このような不確実性の時代を生きていくために、現代社会とは一体なんなのか、確実なことを把握しておかなければならない。
- ❖ 経済学は、現代社会を経済という面から把握することによって、現代社会の過去・現在・未来を見据えるためのコンパスを与える。